

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

議会広報広聴委員会記録

平成 30 年 12 月 3 日(月)

12時58分～15時08分

議会第1委員会室

- 【出席者】 小川委員長、川上副委員長、
三浦委員、沖田委員、西川委員、村武委員、笹田委員、芦谷委員、
田畑委員、澁谷委員
- 【事務局】 篠原次長、近重書記

議題

1 はまだ議会だよりVol. 52について……………資料1

- (1) 記事、役割について
 - 委員会報告部分以外は案のとおり了承
- (2) 委員会報告レイアウト、ページ割付について
 - 12月14日の委員会で再度協議
 - ※協議内容は、「レイアウト」「掲載までの流れ」「掲載記事の選定」
- (3) その他

2 地域井戸端会の意見提出について……………資料2

- (1) 意見振分について
 - 案のとおり了承し議会運営委員会へ提出
- (2) 議会運営委員会への提出文書案について
 - 案のとおり了承し議会運営委員会へ提出
- (3) その他

3 次年度議会報告会について……………資料3

(1) 開催について

- 5月、10月開催する。5月14日（月）～17日（木）で開催予定

(2) その他

4 次年度行政視察について……………資料4

(1) 視察内容及び時期について

- 5月29日（水）～31日（金）で実施予定
- 幹事は、笹田委員、西川委員、三浦委員

(2) その他

5 その他

- ちいき本棚へはまだ議会だよりを掲載

次回会議 開催予定日：平成30年12月27日（木）午前9時

※はまだ議会だよりの編集作業

〔 12時 58分 開議 〕

小川委員長 議会広報広聴委員会を開催します。本日はたくさん議題がありますがスムーズな運営をはかっていきたいと思います。

1. はまだ議会だよりVol.52について

(1) 記事、役割について

(2) 委員会報告レイアウト、ページ割付について

(3) その他

小川委員長 52号についての記事割り当て、編集方針等も含めてですが、今回からやっていける部分があれば最大限盛り込んでいくことも含めて、提案等があるので最初に近重書記から割り当て等の中身について考え方を示していただいて、その後レイアウトについて検討していきたいと思います。よろしくお願いします。

近重書記 (以下、資料をもとに説明)

委員会の審査経過についてはリニューアルということで、三浦委員から資料提供いただいているので、ご説明をお願いします。

小川委員長 近重書記から報告いただいた日程の関係ですが、調査会27日は三浦委員には出られないのでしょうか。

三浦委員 その日は……。

小川委員長 でしたね。他の方はよろしいですか。どうもその日しか日程が入らないということで、編集に関する唯一の調査会ですが。では27日ということで確認をお願いします。

ページ割振りも含めて三浦委員から、リニューアルに向けての提案がありますので、それも含めて説明をお願いします。

三浦委員 (以下、資料をもとに説明)

小川委員長 ありがとうございます。当初は委員長報告がどうかというところから出発して、全体的なリニューアルも含めて検討すべきではないかというご提案だと思います。皆さん、聞いてみたいことがございましたら是非聞いていただいて、紙面構成について検討したいと思います。

三浦委員 決してこれが正解というわけではなく、これをたたき台にさせていただいて、改善アイデアをお話出来たらと思います。

笹田委員 前回に言われたように、委員長報告は定例会の所にまとめて、定例会トピックスにまとめて短くても良いのかなと、これを見て尚更思いました。

ありがとうございました。

小川委員長

こういうページ構成はどうかと。従来の見開きのページは、もう意味が無いのではと。前回参考にさせていただいた真庭市のように、1つピックアップしたのに対してこれらが流れ込んでいる、敢えてこういう形で出さなくても、3つの委員会がそれぞれ選んだようなトピックス的なものに付則的に付けていけば、このページは不要だと。そのように今後出来ればやっていってもらった方が正副委員長の手間も少し軽減されますし。

三浦委員

本当はもう1ページというか、読み物なので基本的には4ページ増やすことになるのですが、差し込みなら2ページ増やす手法も出来ます。もしもう1ページあるなら議会全体としてこうだったという、今の表紙裏のダイジェストはあった方が読者にとっては良いと思います。ただ16ページの中で何を優先して載せていくかとなった時、私の案では結果的にダイジェストのページが落ちたということです。あった方が良いけど、どれを載せるべきかとなった時には、ここの1ページを削って特集を載せたり、各委員長報告のところの説明を厚くした方が情報としては入ってくるなど。

澁谷委員

前回も言いましたが、委員長報告の文章を直すレベルからは脱却したいなど。企画や内容を皆で協議して充実させる方向に。文章はもう各自に任せて。それで市民との距離を近づけるために皆さんの知恵とセンスを役立てた方が良いので、三浦委員の案でやってみるしかないと感じます。

川上委員

僕もやってみたい、やるべきだと思っています。1回チャレンジして委員会の中でそのチャレンジに対して検討するうちに変わるかもしれないし。良いことだと思います。

澁谷委員

手法として今後どのように内容を、常任委員会の主力のものを決めていくかとか。予算委員会は全員が出ているから重要点はだいたい分かりますが、その選別や記事を誰が書くかとか。具体的なことが固まるのは時間がかかるかなという気がします。

小川委員長

各常任委員会の委員長さんと議会広報広聴委員会のメンバーとで、どうするかですね。今まではページが分かれていたものが1か所にまとめて報告がくるのではないかと、それなら1つのフォーマットを作りながらやっていく体制、誰が責任を持つか。今までなら委員長さんで、その辺も見直しながら広報広聴のメンバーが自分の所属常任委員会の記事については、フォーマットに従いながら作ってみるような方向になっていくのではないかと思います。

笹田委員

委員長が言われたように各常任委員会から来ているので、委員長に聞かなくてもここで各委員会の割振りについて話し合えると思うので、そうや

って決めていくしかないかと思います。この間のように割合で決めても記事が無かったりすると思うので。議長団も入っているから議長側の話があればできると思います。

川上委員
小川委員長

意見を持ち込んでもらって、それを中で審議するしかないのです。

あと先ほどの提案の中で、業者のデザイン等の調整も事前に必要なのかと思ったり。多分来年に代わってからのことも想定してのことだろうと思います。予算関係も含めて。次号を作るにあたってどういう形でそれを進めていくか。もう少し具体的に見えると良いかなと。

三浦委員

当面はまずは3常任委員会と予算決算委員会の所でやってみる。いきなり大幅に変えるのは今の紙面構成からいくと無理だと思います。それをやりつつ、大幅リニューアルをいつ頃やるのか、それに向けてどういうフォーマットでやるのか、予算との兼ね合いもあるので業者さんにどのタイミングで入っていただくのかがあると思います。そこからやっていくと、次号からというのも難しいですし、コンペが必要となる可能性もあります。そこは物理的に可能な予算スケジュールとリニューアルできるスケジュールとを合わせながら、来年度のどのタイミングでリニューアルを目指して動いていくのが、現実的ではないかと思います。

川上委員
三浦委員
川上委員

折角の提案ですからウェブの方も考えた方が良くと思う。

出来れば考えた方が良いでしょう。

広報だけでなく、ウェブ側も考え直して情報をどう配置するか考えた方が良いでしょう。

小川委員長

ウェブは事務局でやっておられるのですか。どこかの業者が担当してレイアウトしているのですか。

近重書記

全てうちでやっていますが、大枠はいじれません。元々のテンプレートは契約業者のものを使わせてもらっています。

三浦委員

これは情報を出来るだけ開示していく機能だと思うので、できるだけ多く漏れが無く掲載していく、詳しくはウェブでと誘導して行って各審議経過は議事録みてくださいという感じで。ただ情報の配置がどうなのかは川上委員がおっしゃるように見直した方が良くかとは思いますが。

小川委員長

紙面の抜本的な見直しをする場合、あきる野市も1つの号に向けて準備して行って煮詰めた段階でリニューアルする形だったような。号数になるのか時期になるのかはともかく、期限を持ってそこを見据えながらやっていくということだろうと思う。笹田委員がいったような形でやるなら、今回は編集に対する調査会が1回しかないのです、それが可能かどうか無理になってこないかと思う。そうすると担当常任委員会の広報広聴メンバーが、

調査会とは別に何回か集まる必要があるだろうと感じます。今から来年度に向けた入札がされるのでしょうか。そこで契約内容でここまでの内容だとか予算はこれだけと、その時点で決まってしまうとすれば、こちらからデザインの要望といったことはもう難しいのかな、とすれば今年は基本的にはこのパターンで行かざるを得ないので、大幅リニューアルは来年度という形になるのかなといったことが提案の中で考えられるかなと感じたのですが。いくら要望してもこの契約内容ならこれ以上のことは無理というのが出てくる可能性があるかなと思いました。

澁谷委員
小川委員長
篠原次長

印刷会社は、今1社になってしまっているの。

必ずそうなりますか。

予算の関係ですが、来年度予算要求は一応済んでいます。三浦委員の提案は素晴らしいのですが、予算要求する段階で見積もりも取りますが、デザイン料等は一切入っていない見積もりになっているので、来年度予算でデザインもお任せするのは難しいかと。

澁谷委員

でも他のところは1ページ1円でカラーになっていたりするではないですか。浜田の場合は16ページで1部が40数円です。ものすごく高くなっているから、逆に言えばデザイン料込のような推定は皆されているではないですか。どのような方針で浜田市の広報の入札をしていくのか見えてないのだけど、広島 of 業者を呼んでくるのか。

田畑委員

1社では競争の意味が無いからな。全体が16ページだろう、現状を踏襲しながら今のように出来ないの。出来ないことは無いと思う。

澁谷委員

三浦委員の案を組み入れて。

笹田委員

1回お願いしてみるのも手ですね。

澁谷委員

最初に組んだのがベースになるから。

(以下、自由討議)

田畑委員

今回でも今の案の説明を聞いて、今日の全協で議長が市長に申入れをしていると、それを3分の1になるかどれくらいになるか分からないがそれを入れるとか、金かけなくてもちょっと考えれば出来ることはやっつけば良いと思う。澁谷委員が言うように委員長報告を直すのにこのメンバーで2時間もかかるようでは大変なので、あれは止めると。止めたなら何をするか。

芦谷委員

市民に知ってもらうということで言えば、委員会の紙面を議案だけに限定するのか、視察も含めた調査事項を市民に知ってもらうのかは、少し議論が必要だと思います。ある程度流動化して、議案プラス違うこと、市民の関心の高いことも入れた方が良く私は思います。

田畑委員	先ほど言った議長の申入れ、車検切れの問題にしても新聞等であれだけ報道されると、議会は何をしているのだという声も出るから。議会も活躍しているという所は示した方が良いと思う。
小川委員長	芦谷委員が言われた、定例会における常任委員会の審議の中身だけを報告しているけど、今後通年会期制になった場合は、委員会活動は議会の時だけに限らなくなってくると思います。そうするともっと幅広い報告が必要になってくる感じはしています。
笹田委員	委員会で議案審議もするけど、所管事務調査があります。所管事務調査は市民に教えないといけないと思ったり、自分が知りたい部分でお願いするわけだから、そういうのも載せていくべきだと思うし、そういうのこそ逆に知りたいのではないかと思うので、議案何号の上位法を載せるよりは。
小川委員長	今までそういうのが出る幕は無かった。
笹田委員	だから、芦谷委員が言われたようにそこも拾い上げていった方が、市民が知りたい内容になるのかなと思うので。議案に縛られる必要はないかと。
小川委員長	それだと付託議案が無くて委員長報告がないから記事もゼロというのは無くなる可能性がありますね。3常任委員会のバランス調整もする必要があるけど、基本的には3等分しながらの調整になると思います。そうすると広報広聴委員会に所属する各常任委員会委員の責任はかなり大きくなってきます。今回は日程的にも短くなっています、それも頭に入れながら進めていかざるを得ないと思います。
澁谷委員	議会中に結構会議を開くことになるのですね。閉めた後の構成は事務的な事なので、それまでの企画やレイアウト等は原稿を閉める前に決めないといけないから、議会中に何回かやるくらいでないと追いつかないかと。それでも2月発行分から急激に変えたら近重書記がパニックになるから今のままにして、5月号くらいからではないですか。
小川委員長	予算も契約内容等も含めてとなると、サマーレビューに向けてこの様な中身の契約にしてくれというようなことも、もしかしたら議論した方が良いのかもしれない。今までは前年度踏襲でやってきたけど、紙面も変えることを考えると、それに応じた形の契約内容が必要になってくる気がする。予算要求する時期に合わせて、それまでにこういう企画でこういう内容で仕事を受けてくれる方、という形で入札にかけていただくことも必要かとは思いますが。
澁谷委員	早くしないと来年10月にはまた委員が入れ替えだからね。メンバーが変わるのだよ。やってからバトンタッチしないと申し送りだけにすると実行が遠のくよ。

田畑委員	だから予算のことは考えずに、あまり深く考えなくてもすぐ出来るこの部分を採用して。全部を一度に変えるのではなく。
小川委員長	先ほど言っていた、特集やテーマ等も考えないといけないし、簡単に出来るような中身ではないと思います。
田畑委員	特集と考えるから難しくなるのかもしれない、深く考えなくても良い。
笹田委員	田畑副議長が言うように、今のままで中身だけ三浦委員の提案を参考にさせてもらって、トピックスを始めるだとかは可能だと思います。出来る事からやって、来年の10月に移行出来るように。
田畑委員	今回議長が言われたようなことは載せるべきだと思う。それをトピックスでやるのか特集でやるのかの選定は別として、やるべきだと思う。あと審査経過、調査会の内容だとかいったものも写真を2か所くらい入れてやると、ある程度埋まるのではないかと思うのだが。調査会の内容も、市民にお知らせした方が良いものはあると思う。それを委員会で作っていただく。
小川委員長	あとフォーマットを3つくらい載せてもらっているけど、こういう形で各常任委員会の原稿を作ってみますか。
西川委員	三浦委員が考えた「市民が知りたいことを分かりやすく伝える」というコンセプト。先進的な議会だよりを見ると、デザインがかなり……余白がたくさんあって読みやすい。素人には難しいと思いますが金がないならやっていかないとはいけません。今まで委員長や個人一般質問を出した議員がやっていたように、ここにあまり議会広報広聴委員会委員に負担がかからないような役割分担になっていたのが、役割分担を見直す機会、事務局だけでなく議員もこの中で分担を持たないといけないと思います。その覚悟でやらないといけないと思います。特集をやるにしてもトピックスをやるにしても誰かが持たないと、委員長がやらないものを事務局に投げるわけにいかないとはいいます。あとは、市民が登場する場が少ないから、特集なり何なりで。今はどこの先進的な議会だよりを見ても、市民がたくさん出ています。そういう観点も入れたいと思います。
芦谷委員	発注はどういう仕様でやっていますか。
近重書記	16ページ表裏カラー中身2色、年4回発行、配送込で。
三浦委員	そこに対して企画が入っているか、デザインが入っているか、印刷は全部行程が違うので、仕様が全部分かれています。それをまるっとやっていたら、逆にこちらからお願いすることが出来る。企画してください、デザインしてくださいというのは言える話なので。
芦谷委員	柏村印刷さんはそこを努力という意味で、こちらが無理のない範囲でお

願いして進化していくということをしていかないと、きれいに一から始めから一切やりませんではいけないと思います。可能な限り実現してもらうように接触しないといけないです。大体こういうものはそういうものです。

近重書記

エリアによる価格の違いも皆さんおっしゃるように、例えば業者がここに来ての打合せ代が入ってないのか。柏村さんが来られる分のお金も入っていたりするし、よそはそれが入ってないという所もあったので。

川上委員

来たからといって1万円もしないよ。

小川委員長

個人でやっている所はデータだけのやり取りですね。

近重書記

へんな話、すごいスタープレイヤーがいて、こちらで全て済んであとは流して印刷だけだったら、かなり抑えられると思いますが。

小川委員長

確かに、PDFファイルを印刷するだけならコストもものすごく安くなる。

近重書記

地域性で10円も30円も違うとなると、そこまではちょっと分析出来てないです。

澁谷委員

ガソリンでもここは高いように、そういうのがあるのだろう。では地元を無視して大阪に発注するかというと、議会としてどうなのか。

笹田委員

適正かどうかなのですよ。

(以下、自由討議)

三浦委員

そういうことですよ、うちが作ったものをあちらが印刷のためのにちょっと直すだけなら、紙面構成はこちらがいじれば、あちらは対応してくれることになるので。

近重書記

こういう形で柏村さんに提示すればこうなるということです。ここである程度こういう形にしてねと決めて発注をすれば、皆さんの負担が増えて予算が増えないということで。

芦谷委員

今日の提案良いと思うけど、はっきり言ってイメージ出来ないから、この中でこれだけはしてみようと決めて、毎回少しずつ良くなる方向でやりましょう。

三浦委員

これは経験からですが、徐々に変えていくのは大事ですがなかなか難しいのです。全体でどうするかとやらないと、家のリフォームと一緒に、結局良いことにならないので、同じスペースの中で同じ目的でちょっと表現を変えるのは良いと思いますが、全体をリニューアルすることを私はご提案したい。だから予算が無い中での全体のリニューアルをどうするかという議論を是非したい、というのが本心です。

笹田委員	どこから手を付けたら良いの。
三浦委員	委員長報告の所はすぐトピックスに変えられると思います。どこかのタイミングで紙面16ページを変えましょうということを、来年の事業の中のどこかで変えれば可能っぽい仕様になっているので、そこは紙面リニューアルチームみたいなプロジェクトチームを作って、そこに向けて紙面リニューアルを検討しつつ、出来る所というのが委員会審査経過の所を変えるというのが現実的かなと思います。ここはすぐ変えられると思います。
笹田委員	おっしゃるとおりだと思うので、そこをまずやって。西川委員が言われたように他の議会では全部議員がやっている所もあります。議員がしっかり動いて議員で作るべきだと私も思いますので。今は表紙を三浦委員と村武委員がやって、中身は正副委員長がたくさん汗をかいていますが、今後誰をどう割り振ってやるかは、話し合ってやるしかないと思います。
澁谷委員	印刷屋は印刷屋で再度内容についてやりながら、どこまで譲歩してくれるか。今は2色と4色では昔ほど差がなくなっているかもしれないし。こちらは三浦委員が中心になってやると思うので、やっていくしかないだろう。
小川委員長	リニューアルチームですか。
澁谷委員	はい。内容については正副委員長が決めるし。
小川委員長	そのタイミングも含めて。
澁谷委員	10月までに1回はチャレンジしないと、またバトンタッチしてこのうちの半分くらい変わったらまた戻るような。
小川委員長	今回で言うと、ここをどうするかです。今回はここを残すのか、それかこれを止めてしまった分を各委員会報告に流し込んでいくか。その辺りはどうか。提案で言うと、これはあまり必要性が無くなってきますので。
澁谷委員	でも今回の中では、どの分が予算の中について、市民生活にプラスになったり、可決案があるのかとか。常任委員会ではどれが12月議会のメインのかとか。
小川委員長	委員会と内容がかぶる部分が出てくる可能性がある。
澁谷委員	ここの委員会メンバーがより一層汗をかくようにならないとね。今までも視察を受けて変更を掛けているけど、ここに来て議会だよりのレベルが他の自治体もすごく上がってきている。
田畑委員	浜田も進歩した方だ。
	(以下、自由討議)
川上委員	トピックスをやるというけど、それを常任委員長に投げるのか、ここの

委員でやるのか。

(「ここでやろうや」という声あり)

小川委員長
澁谷委員

それで行きましょう。

今回はどの議案をすとか、予算のこの件を説明すとか、本当はここで決めないといけない。

(以下、自由討議)

小川委員長
川上委員
小川委員長

委員長報告は最終日でないと出ないでしょう。

それまでに委員の中でもう決めてしまう。

委員長報告は全く無視で良いですか。

(「良い」という声あり)

澁谷委員

常任委員会は議案を丁寧に見れば、これは揉めそうだとか、これは出るというのは何となく分かる。

(以下、自由討議)

小川委員長

11日から3常任委員会が始まりますが、その常任委員会後に、その常任委員会に所属している広報広聴の方で相談してもらい、その中で誰を中心にして原稿作りをするかを……。

澁谷委員
田畑委員
近重書記
澁谷委員

その時はスペースだよな。何行に書けるか。

概ね、今の委員長報告に与えられている枠で良いのではないか。

2ページで半分ずつ。予算決算も入れて。

本当なら予算に一番スペースがないといけない。それを均等にするから……内容を見て調整しないといけない。

小川委員長

予算の関係も3常任委員会に振り分ければ、本来は3つに分ければ良いのですよね。

田畑委員

3月になったらその方法だと大変だ。

(以下、自由討議)

澁谷委員

14日にやったらいつまでに原稿締めになるのかな。

(「21」という声あり)

澁谷委員

十分だ。

(以下、自由討議)

近重書記

結局この一覧がどう反映されるかとなると、4、5、6ページが未定な状態になるということですか。

(「そうだね」という声あり)

田畑委員	どこかに掲載するようなの。
近重書記	今日のですか。
澁谷委員	14日だろう、14日、14日。
小川委員長	この分で言えば4、5、6ページの所が白紙状態でそこを14日に紙面の割り当てをするということで。
田畑委員	各常任委員会で同じ枠になっているでしょう。
小川委員長	その調整も14日に。
田畑委員	ある程度まとめておいてもらいたい。どうしても総務のボリュームが多いし。

（ 以下、自由討議 ）

村武委員	報告を皆さんにしないといけませんよね、せめて委員長には。今までの流れで書かないといけないと思っておられるかもしれないので、次回からこのようにしますということは各委員会で。
笹田委員	正副委員長に言って貰えば良いのです。
澁谷委員	今回から変わったのは原稿締めを言わなかったら分かるのでは。
村武委員	でもやはりちゃんと言った方が。
芦谷委員	正副委員長には話した方が良い。
小川委員長	各常任委員会の委員長に「今までこうしていましたが、こうなります」と。明日以降に言いましょう。言っておきます。リニューアルチームについては、多分三浦委員中心になると思うけど。
澁谷委員	人選は三浦委員に任せるから。

（ 以下、自由討議 ）

小川委員長	では議題1についてはそれで、日程的にも厳しいですがご協力をお願いしていききたいと思います。抜本的リニューアルについては今後課題として持ちつつ、専門的に詰めていく努力をしながら進めていこうと思います。今回は出来る所ということで、委員長報告の部分を変えるように検討をお願いします。その分当委員会委員の方には負担が増えますがよろしくをお願いします。明日以降に各委員長さんにはそのようにお伝えしておきます。 議題1についてはこのような形でよろしいですか。
-------	--

（ 「はい」という声あり ）

2. 地域井戸端会の意見提出について

(1) 意見振分について

(2) 議会運営委員会への提出文書案について

(3) その他

小川委員長 近重書記	これについて先に事務局から説明をお願いします。 (以下、資料をもとに説明)
小川委員長 近重書記	各常任委員会に振り分けてあるのは、最初のページに1つの項目に2つ丸がついている所は、両方に入っています。 予算……議会運営委員会にも出てはいますが、これは1つか2つなのと広報広聴委員会なら、議会報告会になぜ人が来ないかというところの話、それは今からかなり議題に挙がってくることなので、敢えて表を作らず3常任委員会分としています。
小川委員長	最後に言われた、議会運営委員会委員長への提出という形になりますが、今後の政策討論会……まず第1弾として広報広聴で集約した分の意見を各常任委員会別に分けて、それを議会運営委員会にお願いする形になります。これも事務局が作成したものにまだ誤字がありますが、こういう形で出したらどうかということなのですが。
澁谷委員	今度の議会運営委員会の最終日の時に政策討論会を実施する方向で常任委員会に振り分ける。その時に参考資料として使っていただくということで。
小川委員長 澁谷委員 近重書記 小川委員長	それでよろしいですか。 はい。 では誤字を訂正して。 では、井戸端会で出された意見については、議員間討議の形に持っていくまで責任を持って、出された意見を大事にしていくということで。これからの流れでお願いしたいと思います。 井戸端会については広報広聴で、出された意見の取扱を今後よろしくお願いします。 議題2については以上でよろしいですか。 (「はい」という声あり)

3. 次年度議会報告会について

(1) 開催について

(2) その他

小川委員長	これは次の行政視察の日程の関係もあって、時期だけでも決めた方がよいという要請があるので。開催回数ですとか時期等、実施してきた中で皆
-------	---

	さんお気づきの点等があると思いますが、何かご意見があればお伺いしたいと思います。まず近重書記から説明をお願いします。
近重書記	(以下、資料をもとに説明)
小川委員長	議会報告会の規定では年1回以上ということで、例年春の議会報告会と秋の井戸端会という形でやっていますが、今後どのようにするか、これまでに感じた事等、ご意見を出していただければと思います。
西川委員	アンケートの集約は無いのですか。
近重書記	前回出しています。
川上委員	秋の井戸端会も面白かったという所があったので、やるべきとは思いますが。議会報告会1回、井戸端会1回は必ずやりたいと思います。
澁谷委員	そのやり方をどうするか。行くだけでガス抜きは出来るのだけど、聞いた分どう対応するのかとなると、聞きおいて一般質問に役立てるくらいでどうなのだろうか。
田畑委員	井戸端会で出た意見を一般質問で出す人いるかな。一般質問しないなら井戸端会は止めれば良い。聞くだけならしない方が良い。
川上委員	意見を政策討論に持っていくと出すか。そうすれば、そうか、となるのがあるから。
田畑委員	議会だよりを見る確率よりはケーブルテレビを見る確率の方が高い。ケーブルテレビの加入率がとても高い。
澁谷委員	三隅のように全世帯にケーブルテレビが導入されている所はそうだが、浜田は50パーセント未満で、全然違うから。その内で見ると言えどもっと少なくなる。
小川委員長	澁谷委員の話は、春の議会報告会はあのような形態ではなく、常任委員会ごとに的を絞って開催するようにして、秋は従来の地域井戸端会としてやったらどうか、ということですか。
澁谷委員	春と秋どちらか変えた方が良いということ。
小川委員長	似たようなものを春と秋両方でやる必要はないということですね。
澁谷委員	評判が良かったら自分がやれば良いわけだ。長いスパンを考えてその中の1個は完成するかもしれないけど、それよりはもっと具体的な集団と意見を聞いた方が良いかなと。そういうのを1回やってみないといけないという気がしています。
笹田委員	そうすると議会報告会ではなくて、重要案件の意見交換会になるのではないですか。
澁谷委員	そうかもしれないけど、子育てグループでも良いし商工会議所の青年部

笹田委員
西川委員

でも連合婦人会女性部でも良いし、農協でも良いし。

それも大事だと思いますが、議会報告会とは別物になるかなと思います。

議会広報広聴委員会として議会が市民と接する機会を減らすのは、無しだと思います。今の春と秋、報告会と井戸端会、会は違いますがターゲットが同じなのです、来る人が一緒なのでこれを2回やってもあまり意味がなくて。おっしゃるようにターゲットを変える。もしかしたら委員会単位になるかもしれませんが、それも有りかもしれません。ターゲットを変えるべきだと思うので、春のが定例化していて来る人が決まっているなら、呼びかけてそういう人たちを増やすような取り組みをして、秋は秋で別のターゲットになるようなことをした方が良いと思います。

三浦委員

秋の井戸端会はどちらかというと地域に出ていって地域ごとに声を伺うという感じでしたが、春は澁谷委員が先ほどおっしゃったように、団体という考え方は良いなと僕は思います。例えば子育てなら、保育関係者の所に行ってしまうとお母さんたちの声が聞こえなくなってしまうので、福祉環境は子育てについてをテーマに井戸端会議を開きますと言って、委員会ごとにそのテーマで井戸端会をやる。産業なら浜田の港をテーマに皆さんの意見を聞かせてくださいと、もちろんそれは業界の方にも……今回思ったのですが、公民館長に集客を頼んだりしておくとは半ば動員かもしれないですが来てくださるという事実があるので、テーマにして業界の方にももちろん案内して一参加者として来てもらうのはどうかと。テーマで井戸端会をやる。

西川委員
澁谷委員

それを委員会としてやるか広報広聴としてやるかが、どうかなと。

今は常任委員長を班長にしているのだ。だからこのメンバーが班長をするくらいでないと、片手間になるし想いも伝わってないし、何か今のパターンを変えたいのだ。2回のうち1回はこのメンバーが班長になって主導権取って、班編成からミーティングしながら、成果は出ないかもしれないけど何かそういう中でやっていく。今は班によっては片手間になっているから。

笹田委員

確かにそのとおりです。僕らが班長して、リードを取ってしっかりやればまた変わってくるかと思います。

三浦委員
笹田委員

各委員会でやったら駄目なのでしょうか。

駄目ではないけど、議会報告会として基本条例の中で謳っているものだから、幅広くというのが前提だと思う。ターゲットを絞るなら重要案件の意見交換会という形になるので。テーマによって幅広く来てくださいというのが議会報告会の形かなと。

(以下、自由討議)

- 芦谷委員 各常任委員会に専門分野があるから、その委員会の所管事務調査の延長線上でも、例えば学校等の専門分野でやってもらうのも良いと思う。
- もう1つ、女性団体だとか青年部だとか常任委員会に関連しないような部分は広報広聴委員会の中でやってもらいたい。
- 澁谷委員 今は18歳以上に選挙権があって、高校生等をターゲットにするのが流行りのようです。
- 芦谷委員 高校生等はこの委員会でやって。
- 田畑委員 この委員会の人が班長をした方が良いと思う。
- 西川委員 回数と時期は。
- 澁谷委員 今までは5月・10月で良かったけど、来年度の10月は臨時会で常任委員会委員の変更時期だから、引っかけやすいかな。
- 芦谷委員 臨時会は11月ではないかな。
- 澁谷委員 そうか。
- 笹田委員 大体毎年やっている時期からあまりずらさない方が良いと思う。
- 田畑委員 このメンバーが班長をする。
- 小川委員長 時期はそのくらいにしておいて、中身は……。
- 田畑委員 議会報告会だから地域に出た方が良いと思う。
- 小川委員長 井戸端会をそのように実施した方が良いですか。
- 田畑委員 そのように展開していくかは、また皆さんで。
- 小川委員長 秋は秋でやると決めておいて、やり方は考えることに。
- 村武委員 規程の中に一応開催区域が決まっています。毎年度1回以上、報告会を開催すると書いてあるので、例えば2回のうちの1回はこのように地域に出向いて井戸端会をして、もう1回は例えば高校生との井戸端会のようにしたらどうかと。私は個人的に高校生との井戸端会はしたいな。
- 笹田委員 規程を変えれば良い。毎回10会場でやっているわけではないよね。
- 田畑委員 視察に行った所は皆、市立高校なのだよね。すると事務長は市職員なのよ。県立高校は県職員。私は話をしてみたけど、全くとはいわないけどすぐには進まないかな。

(以下、自由討議)

- 西川委員 政策甲子園が去年からJC（浜田青年会議所）でやっています。それは市議会があまり関与してないのですが、来年以降もやると言っておられたので、浜高・浜商・水高、市内の3校が政策を考えて発表する企画です。まだ主権者教育が各学校にあると思うので、市議会がまずそれに協力して次

のステップで浜田市の具体的な問題、政策等を討論してそれを基に発表してもらおうようにすれば。主催されている方と話した時に、市議会に参与してもらったら嬉しいとおっしゃっているので、それを高校生と検討したいと思います。

村武委員 今のお話すごく良いと思います。今年から高校魅力化を教育委員会で始めるので、高校との接点もできやすいと思うので、考えたら良いのではないかと。出来なくはないと思います。

西川委員 浜高が3チーム、浜商と水高が1チームずつでコンテストがあって、水高の案が賞を取っています。漁業をかなり深掘りしていました。

三浦委員 政策甲子園は提案して終わっているのです。その後何もなっていないのはJ Cの方も問題意識として持っているので、政策提言としてやってもらえるなら執行部、それこそ議会でも良いかもしれないし。発表して終わりではなく、もう一歩進められたらどうでしょうかという認識は、あちらも持っておられるようです。

西川委員 高校2年生だったと思います。今から18歳になるので、選挙権を持つ前の主権者教育に出向いて行って、議会でそのような話をしたいというのがまずとっかかりになれば、学校も喜ぶと思います。政策に活かしてもらうには課題を知ってもらわないといけないので、議会と討論会等をしてもらって、それを考えてもらって帰ってくれば一番良いので、是非ここでやりましょう。

(以下、自由討議)

西川委員 今は地域でやっても同じ人しか来ないではないですか。今までとは違う人が来るようにならないですかね。

笹田委員 井戸端会は地域でやって良いと思います。テーマ絞って広く募っても良いですし、別の観点から広報の部分で攻めていけば良いし。基本的に報告会のターゲットは広く門戸を開けておかないといけないと思います。

(以下、自由討議)

小川委員長 5月と10月にやるということについては、ここのメンバーで班長を担うということ。それ以前に、広報広聴委員が主体的に責任持って進めるということ。とりあえず春の回については5月に今までどおりの形でやる、会場が何箇所になるかは分かりませんが。秋については10月時期に、井戸端会をやる、意見交換会という形でやる。

三浦委員 5月は報告会をやる。

小川委員長	そうですね、一応5月と10月はやろうと。春の分は議会報告会にするのか井戸端会でやるのか、それとも重要案件の意見交換会のようにやるのか。色々意見は出ましたが。
田畑委員	春は報告会だろう。
小川委員長	やはり当初予算の関係があるからですかね。
田畑委員	とにかく20分までで終わって、その後は座談会。
村武委員	我々の春の時は、報告もちろんしましたがその後は井戸端会のような感じでした。秋の分にちょっと報告が入る形ですか。それだと報告会という名前もどうなのかと思います。報告会と書いてあると報告されるのかと思って単に聞きに来られる方もいらっしゃると思うし、でも実際には意見も出してもらいますよね。
田畑委員	今まで、3月議会で予算について可決された事業についてパワーポイントを使ってやっていました。口頭なら15分で終わる。その後に質問ありますかと言ったって質問などあるわけない。そうすると座談会、意見交換会、もう井戸端会のようなものだ。人数が多いから2つに分かれましようと言ったら、もう井戸端会と同じことになる。パワーポイントは20分で終わる。
村武委員	報告が少ないということではないですか。
田畑委員	細かく言ったら切りがないが。
村武委員	だからその内容をどうするかもあるのですが、市民の方に「これは何をするものなのか」を分かっただけやすいPRも必要だと思います。私たちは、多分こんなものだというのが分かっていますが、より多くの方に来てもらうためには、何をする会なのか、どんなことをするのかをちゃんと分かってもらわないと。分からないと来ないと思うので。
澁谷委員	今度からうちの者が班長になってやるということだから。
村武委員	それは良いので。結局何をするのか市民の方が分からないといけないと思うので。
澁谷委員	村武委員あなたを班長にするから、提案を作ってやらないとなかなか進むまい。
笹田委員	村武委員、中身のことは皆さん分かっておられるのですよ。期数が若い人は分からないですが。来る人は物を言いに来ているのです。
村武委員	でも、決まりきった方ばかりではなく、より多くの方に来てもらわないといけないと思うので、そうなったら多分分かってない方の方が多いから来られないのではないかと。私の知り合い等は何するか分からないから行きたくない、みたいな感じの人も居たので。多分多くの市民がそうなのではないかと思いますが。何をするかは皆で考えてやれば良いと思いますが。

小川委員長	パワーポイントも、中身を変える必要があったのかもしれないけど、議会の仕組みや常任委員会の構成だとか、毎回来られる方にしてみれば毎回同じことを聞かされて「それはもういい」という声もあったので、今回は止めてみようということになったのですが。
西川委員	先ほどの議会だよりのコンセプトと一緒に、市民の知りたいことを分かりやすくということだと思います。ただ、報告会をするにしても人を集めることを僕らがやらないと。ホームページやチラシを貼るだけでは来ないので、議員が直接勧誘する活動をして、出来るだけ来てもらう目標を持ってやった方が、開けてみたら3人だったというようなことが無いようにしたいです。
小川委員長	報告する内容もいくらか柱を検討したけど、市民の方が聞きたい議会広報というところを意識して中身を変えて、今までは初めてのことで、報告会の位置づけも分からない、議会そのものがどういうものをまず説明せねばいけないだろうということからやるので、そこにあまりに時間を多く取ってしまって、肝心の所が短かったりした反省点もありました。
笹田委員	実は最初、動員をかけました。でも「お前に言われたから来た」というような人の集まりになるのです。結局普段でも話している人との話になるので。だから、本当に興味を持って物を言いたくて聞きたいという人をどうやって探すのかが一番大切です。
澁谷委員	議員と接する機会がない人に来てもらうのが良いけど、それがなかなか難しい。自分の後援会に声をかけても意味ないので。簡単ではない。 (以下、自由討議)
田畑委員	今一番地域で危機感があるのは美川地区。
笹田委員	そういうところは参加者が多い。
小川委員長	そういうことで、5月10月についてはとりあえずやるということで、中身はもう少し煮詰めていきましょう。

4. 次年度行政視察について

(1) 視察内容及び時期について

(2) その他

小川委員長	5月にやるならその前か後に行政視察に行くかだけど、今年度は。
近重書記	5月中旬に報告会をして、5月末に行きます。4月は異動があつて相手方の対応が困難となるケースが多いので。 (以下、自由討議)

小川委員長	芦谷委員が言われるのは、議会報告会が中旬なら、それより前に視察に行った方が良いということですね。
田畑委員	後だろう。その次の週に行けば丁度良い。
小川委員長	20日か27日か、その辺りですかね。議会報告会を13日の週にするなら、その後なら20日の週か21日の週辺りです。
笹田委員	そのあとすぐに6月定例会に入るだろう。 (以下、自由討議)
澁谷委員 笹田委員	では29、30、31日ですか。幹事は誰。 僕と三浦委員と西川委員にして良いですか。 (以下、自由討議)
小川委員長	視察が29、30、31なら議会報告会は13、14、15、16くらいにしておくか。 今年と同じようなパターンで、月から木。良いですか。 (「はい」という声あり) とりあえず5月の議会報告会と視察日程はそういう形でよろしく願い します。 (「はい」という声あり) 4番についてその他あればですが、無ければ終わります。

5. その他

小川委員長	その他何かありますか。
近重書記	Sidebooksの「ちいき本棚」というのがあり、他自治体の広報が見られます。ここに色んな広報がありますが、うちの広報も載せてみてはどうでしょうかという意見をいただきました。内容を見ると費用負担等はなく、単純にデータを載せるだけの作業で終わります。 (以下、タブレット画面をもとに説明)
小川委員長	皆さんからその他ありますか。 (「なし」という声あり) 無ければ、大変長時間ご苦労様でした。以上で議会広報広聴委員会を終了します。

〔 15時 08分 閉議 〕

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 小川 稔宏